

令和3（2021）年度
「污水处理特論」

問 20 フレーン原子吸光法に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) バーナーを用いてフレーン（炎）を作り、そこに試料溶液を噴霧して原子蒸気を生成させる。
- (2) 試料原子化部は光源とガス流量制御部で構成される。
- (3) 測光方式には、シングルビーム方式とダブルビーム方式とがある。
- (4) 光源としては、中空陰極ランプ、高輝度ランプ、低圧水銀ランプなどが用いられる。
- (5) 検出部は、検出器への入射光の光強度を、その強度に応じた電気信号に変換する部分で、光電子倍增管、光電管又は半導体検出器が用いられる。

（誤問の内容）

選択肢(5)の「検出部は、検出器への入射光の光強度を、その強度に応じた電気信号に変換する部分で、光電子倍增管、光電管又は半導体検出器が用いられる。」は正しい解として問題を作成したが、選択肢(5)中の「光電子倍增管」は、正しくは「光電子増倍管」であることが判明した。

（措置）

誤りの記述の選択肢を選ぶ問題ですが、選択肢(2)及び(5)のどちらも誤りの記述のため、(2)及び(5)を正解とする。